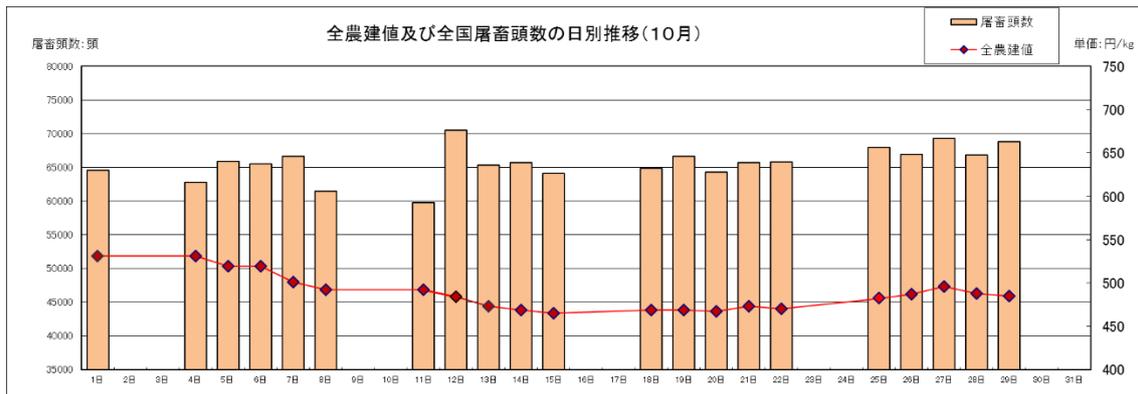


肉豚インフォメーション（10月）

【全農建値】

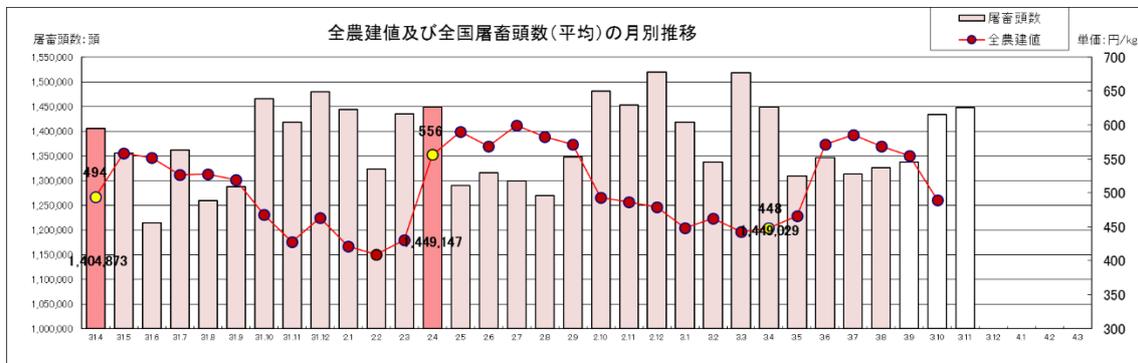
2021年10月（税抜）	2020年10月（税抜）
489円/kg（4円安）	493円/kg

10月は、7万頭を超える日が一日しかなく平年と比べて少ない出荷頭数となった。相場は、高騰していた野菜の価格が下がり始め、鍋物需要が高まったこともあり底堅く推移した。



11月以降の動向

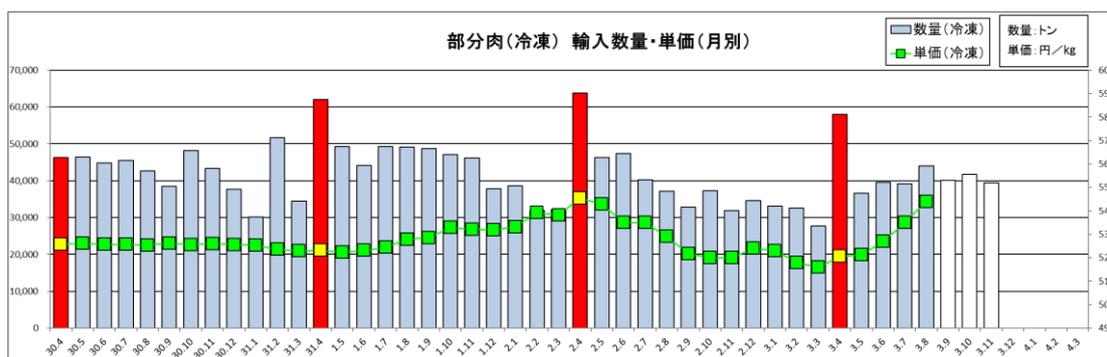
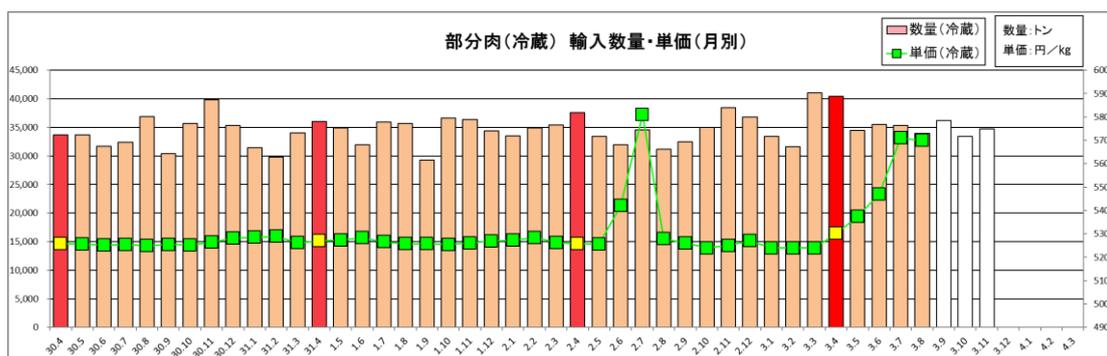
11月の出荷頭数は、わずかに前年同月を下回ると予測されている。



冷蔵品輸入量は、北米における現地価格の高騰の影響等から、10月はやや、11月はかなりの程度、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をわずかに下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、中国の買い付けが弱まったことにより相場が下がった欧州産の輸入量が増えていること等から、10月はかなり大きく、11月は大幅に、いずれも前年同月を上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期を大幅に上回ると予測する。

(ALIC 豚肉の需給予測について 10月27日)



新型コロナウイルスの感染が落ち着きを見せる中、徐々に経済活動が動き出し、土日や祝日には行楽地へ足を運ぶ人たちが目立ってきている。これまで苦境に立たされてきた飲食店や観光地にとっては明るいニュースである一方、年末年始に予想される第6波の懸念は払しょくされないため、再感染の危機感を持ちつつ経済を回していかなければいけない状況となっている。

先月末に投開票となった衆議院選挙では、自民党が絶対安定多数となる261議席を確保する結果となり、今後の岸田政権の経済対策に注目が集まる中、先行して地方自治体による観光支援策が拡がりを見せ、飲食業界や観光業界の経済活動再開に向けて加速し始めているため、外食需要に期待したい。

一方で輸入豚肉（冷蔵・冷凍ともに）の価格が上昇しており、「ミートショック」と呼ばれており飲食店での値上げの動きがある。今後も輸入豚肉の相場が国産豚肉の相場に影響を及ぼしそう。

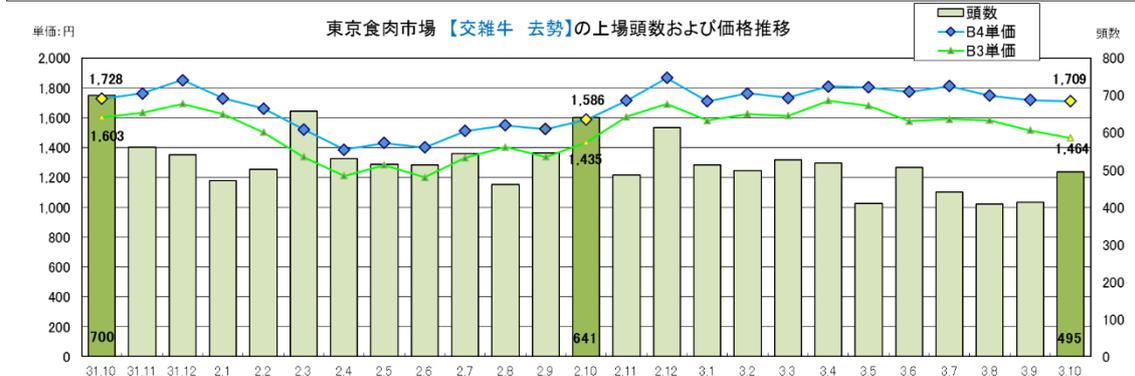
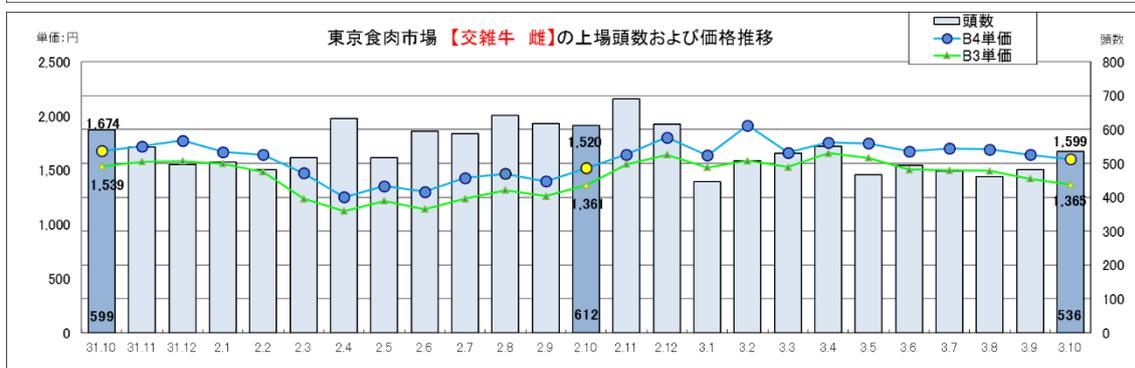
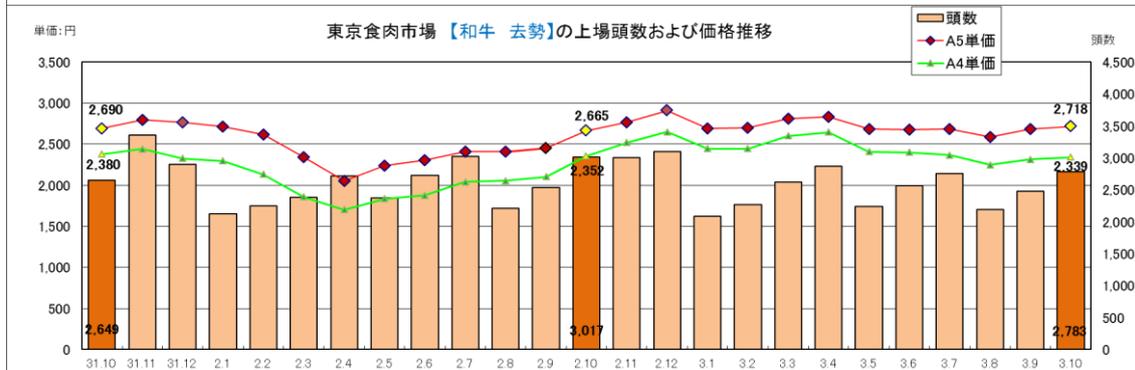
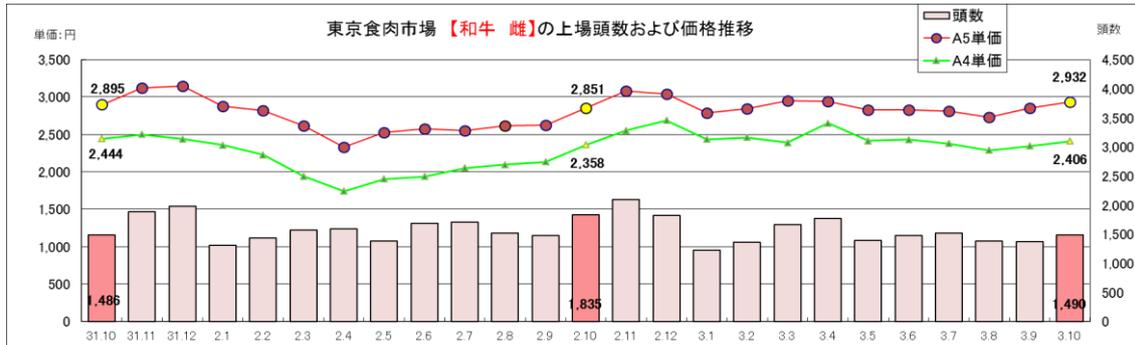
11月の相場は下げるが底堅く推移する見通し。

全農建値（税抜）予測レンジは460円～500円とする。

肉牛インフォメーション（10月）

● 10月の動向

10月は緊急事態宣言下が解除となったが、外食が回復せず荷動きが鈍かったことから、枝肉相場は全体的に弱含みとなった。和牛が上物は安定したが後半は値を下げた。交雑牛は品質の良い3、4等級でも引き合いは弱かった。



● 11月の動向予測

10月下旬から時短要請が全面的に解除となり、外食需要が動き出せば輸出向けに加え、国内向けも動くことも期待できる。これからの時期は共励会等が多く忘年会向けの手当も始まることから、枝肉相場は月後半に向けて徐々に値を戻すと見込む。

11月相場は「強含み」の展開と予想。

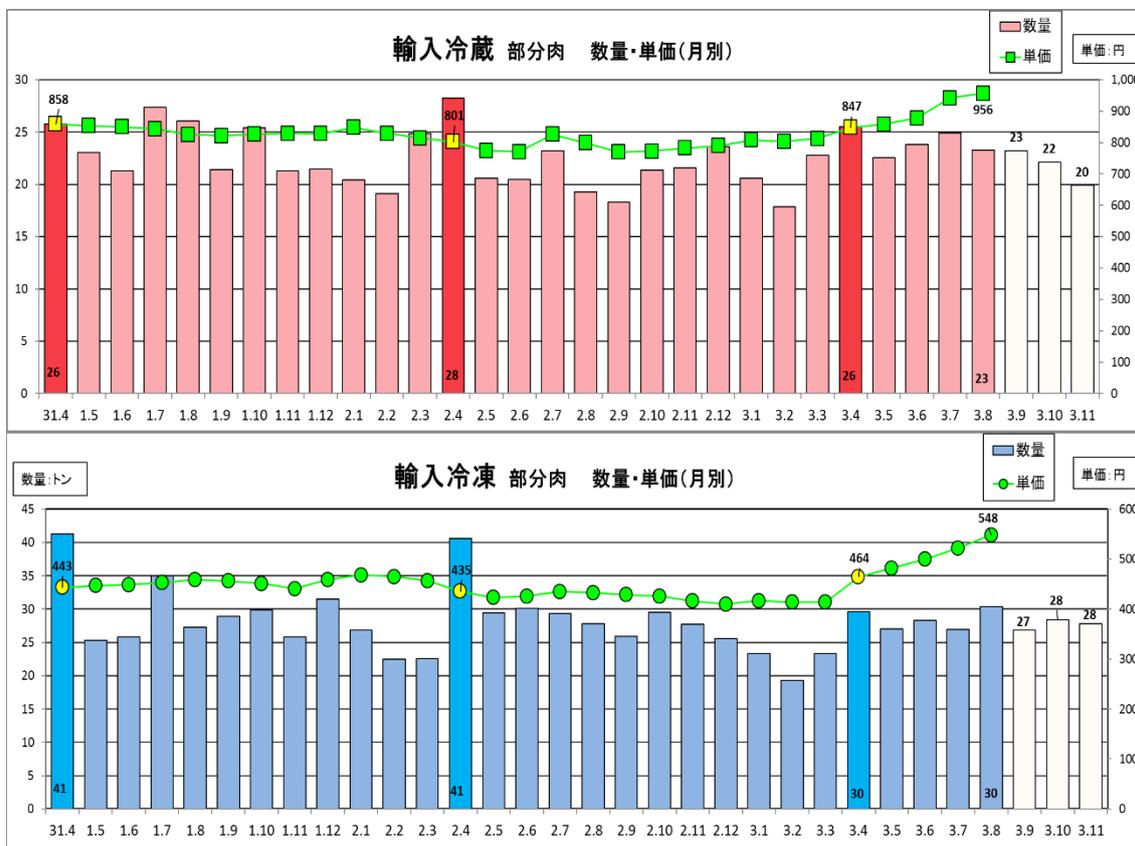
和牛去勢 A5 等級 2,750 円 (税込み) A4 等級 2,450 円 (税込み)
 交雑去勢 B4 等級 1,750 円 (税込み) B3 等級 1,600 円 (税込み)

● 輸入牛肉

10月の冷蔵品輸入量は、前年同月の輸入量が北米現地工場の作業効率の低下により少なかったことから、前年同月をやや上回ると予測する。11月は、豪州及び米国における現地価格の高騰等により、前年同月をかなりの程度下回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をかなりの程度上回ると予測する。

冷凍品輸入量は、豪州及び米国における現地価格の高騰等により、前年同月をやや下回ると予測する。一方、11月は、10月と同様の影響はあるものの、他国産の冷凍品で補う動きがあることから前年同月並みと予測する。なお、3カ月平均では、前年同期と同水準となると予測する。

(A L I C 牛肉の需給予測について10月27日)



●消費動向

徐々に肩ロースやウデの引き合いも強まり、営業時間が延びることで高級焼肉店やホテルなどからの高級牛肉の引き合いにも期待できる。月2週日以降からの荷動きが期待できるとの声も。

●全農茨城県本部家畜市場動向

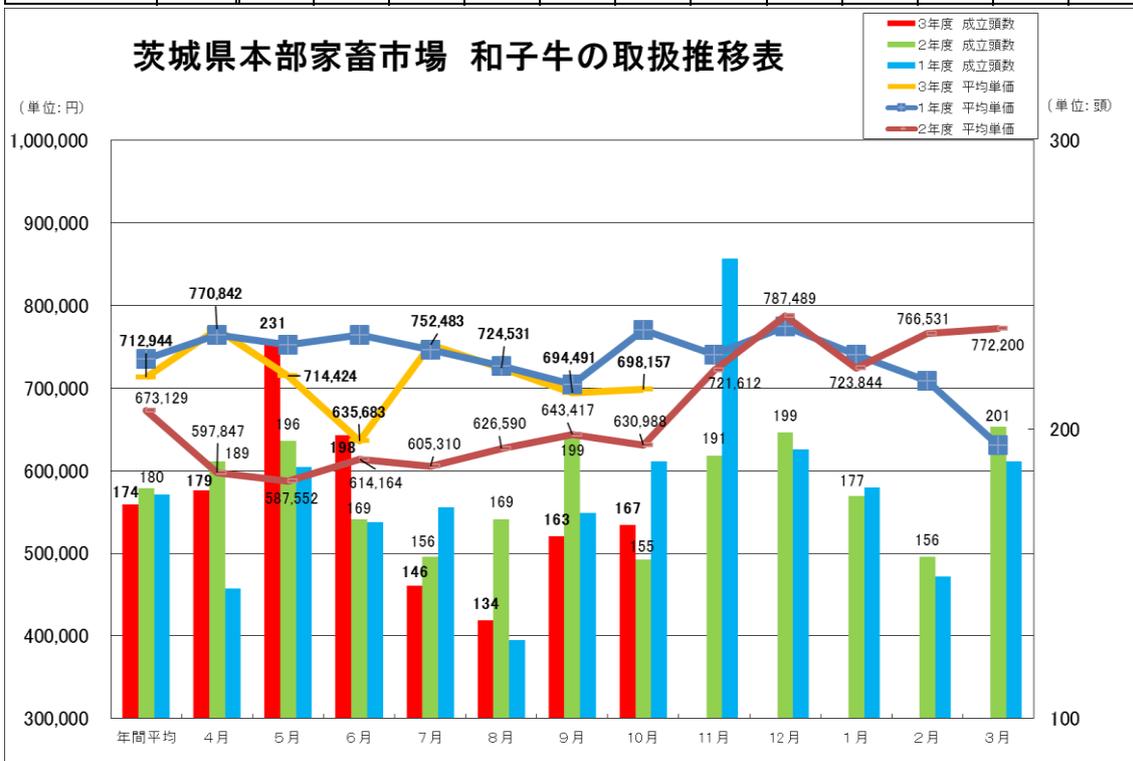
素牛平均価格（10月税込）は、黒毛和種の雌は608,940円で前月比▲19,837、去勢は756,500円で前月比+1,706円となった。上場頭数（成立）は167頭で前月比+4頭。

次回上場頭数は141頭を予定している。

全農茨城県本部家畜市場実績（和牛子牛）

(税込)

	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年度 平均単価	735,223	764,223	752,015	764,621	746,382	726,806	704,141	769,994	740,279	774,343	740,581	708,666	630,626
去勢	791,182	804,333	799,867	842,908	797,996	801,132	732,566	818,370	797,145	846,297	814,402	757,106	682,060
雌	659,697	707,400	675,585	684,447	680,659	631,348	657,786	702,635	661,359	682,919	639,563	633,657	559,009
2年度 平均単価	673,129	597,847	587,552	614,164	605,310	626,590	643,417	630,988	721,612	787,489	723,844	766,531	772,200
去勢	734,165	649,837	642,142	674,214	650,911	694,492	709,130	714,912	794,798	850,944	799,476	794,563	834,562
雌	598,275	513,364	510,047	545,753	561,990	550,285	562,199	552,310	635,950	707,450	630,022	724,591	685,339
3年度 平均単価	712,944	770,842	714,424	635,683	752,483	724,531	694,491	698,157					
去勢	772,575	835,115	780,016	692,025	806,078	783,500	754,794	756,500					
雌	626,741	694,811	609,771	570,768	668,800	605,318	628,777	608,940					
1年度 成立頭数	178	145	187	168	173	127	171	189	259	193	180	149	189
2年度 成立頭数	180	189	196	169	156	169	199	155	191	199	177	156	201
3年度 成立頭数	174	179	231	198	146	134	163	167					



食肉インフォメーション（10月）

日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査9月度結果報告によると、「全体売上は対前年比91.8%、コロナ前の2019年比では78.3%に留まった。」と厳しい情勢報告となった。9月は、コロナ感染第5波のピークから脱して新規感染者数は減少に転じたが、三大都市圏などへの「緊急事態宣言」および全国各地への「まん延防止措置」が月末まで適用された結果、テイクアウト・デリバリー需要が強みのファーストフードが堅調に推移した。一方、パブ・居酒屋業態は引き続き営業時間短縮と酒類提供制限の要請に応じたため、前年比19.6%、一昨年比ではわずか9.5%と深刻な状況となっている。

小売店については、日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の9月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は1,233億円(前年同月比101.0%、既存店ベース99.7%)と前年同月を上回った。内食需要は引き続き高水準を維持しているものの、国産・輸入品共に価格が上昇したことで販促を打ちにくく、伸び悩みをみせた。

一方で食肉輸入量については、財務省が公表した9月の貿易統計によると、家庭内消費の堅調な推移を受けて牛肉は50,583トン(前年同月比14.3%増)、豚肉は74,295トン(前年同月比13.5%増)と前年を上回った。

○牛肉

「緊急事態宣言」および「まん延防止措置」が9月30日をもって全都道府県で解除されることとなったが、様子見の姿勢が強く荷動きは鈍かった。焼肉用のスライスが好調に推移したが、ロース・ヒレ等の高級部位は引き続きの外食需要減少に加え、前年比での高値推移のため伸び悩んだ。

○豚肉

9月は出荷頭数が伸び悩むなか、連休の手当買いや気温低下による鍋物需要の高まり等もあり、末端の荷動きは堅調な推移となった。スライス用のバラ・カタロースが好調に動いた一方、学校給食の再開の遅れ等により冷凍のスソ物の動きは鈍かった。

○業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和3年9月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和2年9月	12,187	13,295	8,876	39,630	17,606	11,072	5,398	108,064
令和3年9月	10,021	13,067	673	33,682	13,956	13,397	5,128	89,924
増減	-2,166	-228	-8,203	-5,948	-3,650	2,325	-270	-18,140
対比	82%	98%	8%	85%	79%	121%	95%	83%